

概要



平成20年度において、これまでの公共交通施策のプロセスとコミュニティバスC-BUS事業の成果をまとめ、地域特性や公共交通の現状と問題点を整理した上で、今後の展開・方向性を「鈴鹿市地域公共交通戦略計画」としてまとめた。この戦略計画を踏まえて、まちづくりと連携した公共交通の活性化、並びに、ネットワーク化をめざした「C-BUSルネッサンス構想」の推進に向け、「鈴鹿市地域公共交通総合連携計画」を策定し、市内公共交通の再生・活性化を図っていく。

地域公共交通の現況

- ・JR関西本線(2駅)
- ・近畿日本鉄道(名古屋線7駅・鈴鹿線4駅)
- ・伊勢鉄道(5駅)
- ・三重交通(11路線:広域路線含む)
- ・コミュニティバスC-BUS(運行地域:2地域4路線)

地域公共交通の課題

- ・公共交通利用者は大幅に減少、路線の維持が困難
- ・移動困難性が増大、移動制約者の生活交通整備が必要
- ・中心市街地が分散し、公共交通機関の連携が不十分

調査の主な内容

- ・路線バス・鉄道の現況把握・活性化方策検討調査
- ・地域資源の活用方策と交通網整備方法の検討
- ・公共交通不便地域・移動制約者の交通ニーズ調査
- ・各公共交通機関のネットワーク形成方策検討調査

地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・鉄道・路線バス・コミュニティバスの活性化策検討
- ・乗継円滑化の実証実験などの検討
- ・利用促進活動の検討

まちづくりと連携した公共交通の活性化・ネットワーク化をめざして

